

★高円寺図書館は、今年開館50周年です!★

# 高円寺図書館

## 2017年11月号



旧蚕糸試験場 1975(昭和50)年 [杉並区役所広報課提供]

杉並区立高円寺図書館

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南2-36-25

電話 03-3316-2421

《最近買った本》

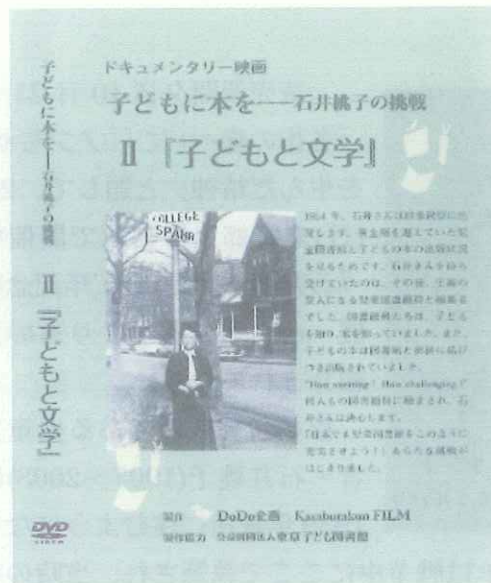
書名、編著者、出版者等	内 容
『福祉世界 福祉国家は越えられるか』 (藤田菜々子、中央公論新社)	現代における福祉世界論の意義と可能性を、政治学・経済学・社会学等の知見に基づき展望する。
『未来にツケを残さない フードバンクの新しい挑戦 誰でもできるフードバンク の作り方』 (糸山智栄他、高文研)	日本のフードロスは年間 621 万トンで、半分は家庭から出ている。これを減らすのに、今から始められる、ゆるゆるとしたフードバンクの作り方、役割を伝える。
『子ども虐待 家族再統合に向けた心理的 支援』 (千賀則史、明石書店)	子どもの安心・安全を確保しながら、家族・援助者との関係性をいかに構築するかを、心理的支援からの可能性をさぐる。
『日本人と動物の歴史 1 家畜』 (小宮輝之、ゆまに書房)	日本人と動物の歴史を、豊富な図版や写真を交えて解説。1ではイヌやウマ等の家畜を紹介。これから刊行される、2では「野生動物」、3では「鳥」を取り上げる。
『イカ先生のアオリイカ学 これで釣りが 100 倍楽しく なる!』 (富所潤、成山堂書店)	釣り人を魅了するアオリイカ。種類、生態、歴史、料理などの知りたい情報や、ありがちな誤解まで、釣り人目線で解説する。
『ドキュメンタリー映画術』 (金子遊著、羽仁進ほか述、 論創社)	どうすればドキュメンタリーは心を打つのか? 巨匠たちのインタビューと鋭利な論考による、映画のつくり方を伝授する。

『京都の庭園 御所から町屋まで』上・下 (飛田範夫、京都大学学術 出版会)	世界遺産の都ならではの名庭園の魅力をあますところなく描き出す。上は御所と公家・武家屋敷、下は神社仏閣と町屋を紹介。
『ヒトはなぜ病み、老いるのか 寿命の生物学』 (若原正己、新日本出版社)	ヒトはなぜ病気になるのか、老化の仕組みとは。身近にある生、病、老、死の問題を最新の科学的知見をもとに解き明かす。
『マンモス』 (福田正己、誠文堂新光社)	永久凍土や気候変動の研究から見えてきたマンモス絶滅の謎や、最近話題となっているマンモスのクローン化などにふれる。
『世界の服飾文様図鑑』 (文化学園服飾博物館編著、 河出書房新社)	文様の基礎知識や、それぞれの文様にこめられた意味まで、約 350 点の豊富な図版とともに紹介。
『石原豪人 「エロス」と「怪奇」を描い たイラストレーター』 (増補新装版、中村圭子編、 河出書房新社)	「怪奇現象」・「怪人」等、あらゆる「怪」の世界を描いて、戦後の挿絵界に大きな足跡を残した石原豪人。天才にして、たゆまぬ努力を続けたその全貌を紹介。
『樹のミュージアム 樹木たちの楽園をめぐる』 (ルイス・ブラックウェル、 創元社)	多様性をもつ熱帯雨林、菌類との共生など、木にまつわる科学エッセイに、世界の写真家のフォトが彩りをそえるビジュアルブック。
『三省堂新旧かなづかい辞典』 (三省堂編修所編、三省堂)	日常使っている言葉から、歴史的仮名遣いがわかる辞典。現代仮名遣いの 50 音順に収録。歴史的仮名遣い概説、字音一覧等も掲載。

<11月の行事・展示> ※展示されている本は借りられます。

◎特別行事・展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
写真パネル展 「五日市街道の むかし」	12月3日(日)まで。 階段踊り場	1963～64年と1987 年頃の五日市街道の 写真31点を展示。
落語会 「台所おさん 独演会」	3日(金・祝) 午後2時～3時30分 1階講座室	伝統芸能の奥深さ、話 芸の素晴らしさを知 って頂く寄席です。
講演会 「高円寺時代の 吉川英治」	5日(日) 午後2時～4時 1階講座室	吉川英治記念館学芸 員の片岡元雄氏に講 話して頂きます。
杉並名誉区民・石井 桃子DVD上映会	12日(日)・19日(日) 午後2時～3時30分 1階講座室	「ノンちゃん牧場」・ 「子どもと文学」の二 本を同時上映します。
絵本原画展  ※ワークショップが行われ る23日(木・祝)午後1 時30分～4時前後 は、見られません。	23日(木・祝)～26日 (日) 午前9時～午後5時 1階講座室	絵本『かわをむきかけ たサトモちゃん』(え ぐちよしこ/文、織茂 恭子/絵、アリス館) の原画を展示します。
絵本作家の ワークショップ  申込:15日(水)より電 話または高円寺図書 館窓口にて受付	23日(木・祝) 午後2時～4時 1階講座室 対象:3歳程度～大人 定員:16名	えぐちよしこ氏によ る絵本読み聞かせと、 織茂恭子氏による貼 り絵遊びのワーク ショップです。

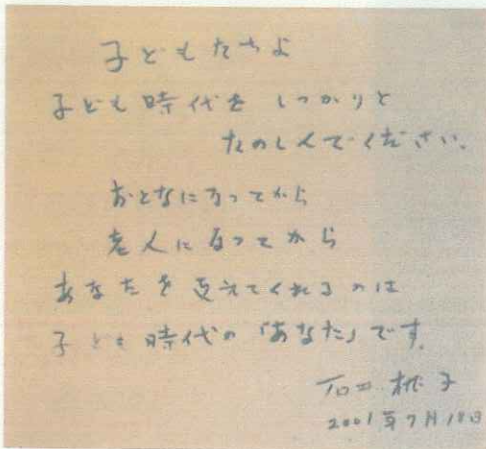


(東京子ども図書館提供)

◎その他の展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
杉並の文士 たち	2階カウンタ ー前	かつて高円寺に居住していた吉川 英治と林芙美子の著作や関連本を 展示しています。
石井桃子の 世界	2階 YA コー ナー	生誕 110 周年を迎えた児童文学 者・石井桃子氏の著作や関連本を 展示しています。
おいしいもの	2階児童絵本 コーナー	食欲の秋です。おいしそうなもの がでてくる本をいっぱい集めました。 絵本と読み物の2か所で展示 しています。
育父部(いくち ぶ)おすすめの えほん	2階児童コー ナー	子どもに読み聞かせをしているグ ループのお父さんが、おすすすめ る絵本を展示しています。

## 最近の新聞記事から



読売新聞夕刊 10月21日付「名作の森へ」に「ノンちゃん」を生んだ精神」と題して、26日(日)まで郷土博物館で開催中の『石井桃子生誕 110年記念特別展 心にのこるおくりもの』が紹介されました。

杉並名誉区民である児童文学者・石井桃子(1907~2008)は、1939年荻窪に住むようになりました。『ノンちゃん雲にのる』は戦争中にここで執筆され、当時の荻窪のイメージが反映されているといわれています。

この地で創作、翻訳、児童文学研究等の多彩な活動を繰り広げる一方で、1958年自宅に家庭文庫の草分けとなる「かつら文庫」を開設し、文庫は現在も活動しています。

文庫会員第一号は、作家・阿川弘之の長男・尚之で、長女・佐和子も通っていました。

上の色紙は、2001年杉並区立中央図書館での展示にあたり、寄せられたメッセージです。

当館では、12日・19日(日)にその足跡をたどったドキュメンタリー映画を上映します。ぜひ御覧ください。

### 【石井桃子著作】

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ○『子どもに歯ごたえのある本を』 | 河出書房新社 |
| ○『石井桃子コレクション』全5巻 | 岩波書店   |
| ○『石井桃子集』全7巻      | 岩波書店   |

### 【石井桃子関連資料】

- |                  |        |     |
|------------------|--------|-----|
| ○『石井桃子のこたば』      | 中川李枝子他 | 新潮社 |
| ○『ひみつの王国 評伝石井桃子』 | 尾崎真理子  | 新潮社 |

## 食欲の秋

秋は、各地で旬のものを楽しめる季節です。身近な料理や調味料がどのような歴史的経緯で、私たちの食卓にあがるようになったのか？

それを調べる際のおすすめは、「食の図書館シリーズ」(原書房)です。

身近な食材の知られざるトリビアな話だけでなく、文化・時代・経済・政治との関わりを解説し、図版や写真も豊富です。巻末にはレシピ集や用語解説も付されています。

食に興味・関心がおありにある方はぜひ御一読ください。

### 【食の図書館シリーズ】

- ・『パンの歴史』(請求記号 383.8 シ) / ・『スープの歴史』(383.8 ク)
- ・『カレーの歴史』(383.8 シ) / ・『ビールの歴史』(383.8 ス)
- ・『キノコの歴史』(383.8 シ) / ・『タマゴの歴史』(648 ト)
- ・『お茶の歴史』(383.8 ウ) / ・『鮭の歴史』(383.8 ミ)
- ・『スパイスの歴史』(619 ツ) / ・『レモンの歴史』(383.8 ソ)
- ・『ミルクの歴史』(648 ウ) / ・『牛肉の歴史』(648 ヒ)
- ・『ジャガイモの歴史』(383.8 ス) / ・『ハーブの歴史』(617 ア)
- ・『コメの歴史』(616 マ) / ・『パイナップルの歴史』(383.8 オ)
- ・『ウイスキーの歴史』(383.8 コ) / ・『リンゴの歴史』(383.8 シ)
- ・『豚肉の歴史』(648 ロ) / ・『ワインの歴史』(383.8 ミ)
- ・『サンドイッチの歴史』(383.8 ウ) / ・『モツの歴史』(383.8 エ)
- ・『ピザの歴史』(383.8 ヘ) / ・『砂糖の歴史』(588 ス)
- ・『オリーブの歴史』(617 ラ) / ・『ソーセージの歴史』(648 ア)
- ・『ソースの歴史』(588 テ) / ・『脂肪の歴史』(570 フ)
- ・『水の歴史』(518 ミ) / ・『バナナの歴史』(625 ヒ)
- ・『オレンジの歴史』(383.8 ハ) / ・『サラダの歴史』(383.8 ウ)
- ・『ナッツの歴史』(625 ア) / ・『パスタと麺の歴史』(383.8 シ)
- ・『タマネギとニンニクの歴史』(626 シ) / ・『キャビアの歴史』(660 フ)
- ・『カクテルの歴史』(596.7 カ) / ・『ホットドッグの歴史』(383.8 ク)
- ・『メロンとスイカの歴史』(626 ラ) / ・『トウガラシの歴史』(617 ア)

【杉並の文士たち】

1923年9月1日の関東大震災で東京市人口の郊外流出が起こり、杉並が農村から住宅地へと変化しました。家賃を滞納して追い出されても、すぐに借家が見つかるので、貧しい生活を送る文士が住むようになり、「阿佐ヶ谷会」のメンバーの井伏鱒二・太宰治、歌人・與謝野晶子、作家の小林多喜二や伊藤整、童話作家・小川未明、画家・津田青楓らがいました。

そうした文士たちの中から、今回は吉川英治と林芙美子を評論等の関連資料と共にご紹介します。

○吉川英治 (1892~1962)



【吉川英治記念館提供】

『宮本武蔵』・『新・平家物語』・『私本太平記』などの名作を著した吉川英治は、1924~28年、高円寺・馬橋に在住し、ペンネーム「吉川英治」の作品を始めて執筆しました。

この時期に発表した『剣難女難』・『鳴門秘帖』等で大衆文学流行作家としての地位を確立しました。また、児童向けに『神州天馬侠』・『ひよどり草紙』等を発表し、子どもたちからのファンレターが殺到するなど、作家としての大きな転機を杉並の地で迎えました。

【吉川英治関連資料】

- 『新潮日本文学アルバム 29 吉川英治』 新潮社
- 『父 吉川英治』 吉川英明 文化出版局
- 『伝記 吉川英治』 尾崎秀樹 講談社
- 『宮本武蔵の読まれ方』 桜井良樹 吉川弘文館
- 『吉川英治』 松本昭 講談社
- 『吉川英治と私』 講談社
- 『吉川英治全集』全50巻・別巻5・補巻3 講談社

林芙美子 (1903~1951)



【新宿歴史博物館提供】

『浮雲』・『めし』などの代表作で知られる女流作家・林芙美子は、1926年12月に手塚緑敏と結婚。翌27年1月から杉並の高円寺・堀ノ内で暮らすようになりました。

この時期の生活は非常に貧しく、着物を売り尽して原稿を書いていたが、新聞社に持ち込んでも、自分が帰宅するよりも早く原稿が速達で送り返されてきたこともあったといえます。

1929年の秋、『九州炭鉱街放浪記』がやっと雑誌に掲載され、翌30年5月に新宿・上落合に移りました。

そして、その年の8月に刊行された『放浪記』がベストセラーとなり、一躍流行作家としての名声が定まることになりました。

新婚生活を送ったというだけではなく、杉並は作家としての地位を確立するまでの研鑽をつんだ場所といえるでしょう。

【林芙美子関連資料】

- 『飢え』 群ようこ 角川書店
- 『女流 有吉佐和子と林芙美子』 関川夏央 集英社
- 『人間・林芙美子』 竹本千万吉 筑摩書房
- 『林芙美子・ゆきゆきて「放浪記」』 清水英子 新人物往来社
- 『ナニカアル』 桐野夏生 新潮社
- 『女三人のシベリア鉄道』 森まゆみ 集英社
- 『林芙美子 女のひとり旅』 新潮社
- 『林芙美子の昭和』 川本三郎 新書館

## 【図書館で利用できるデータベース】

かつては家庭に1セットはあった百科事典。今では百科事典自体の紙媒体による刊行が無くなり、21世紀になって一度も改訂版が出版されていないシリーズも珍しくありません。

しかし、データベースとして閲覧できるものがあり、その一つが「ジャパンナレッジLib」です。百科事典を中心に50以上のコンテンツが収録されています。

『日本大百科全書』・『日本国語大辞典』・『日本人名大辞典』・『現代用語の基礎知識』・『ランダムハウス英和大辞典』等を一括で検索することが可能で、言語辞書も独・仏・西・伊・ハンガール・中国語・ラテン語が小学館のプログレッシブで収録されています。

その他、『古事類苑』・『新版 能・狂言事典』・『新版 歌舞伎事典』・『日本人物文献目録』・『新版 日本架空伝承人名事典』等があります。

オプションとして『日本歴史地名大系』も入っており、「高円寺」と検索すると「高円寺村」について調べることができます。

調べものの一助として、ご活用ください。(閲覧のみです)



※画像は最新のものではありません。

## 【表紙の写真から】

杉並では明治時代、上井草村・下井草村を中心に養蚕が盛んに行われ、大正初期、井荻村は豊多摩郡で第一位の収穫高を記録しました。

表紙の農林省蚕糸試験場は1912(明治45)年、蚕の種紙の製造と品種改良を目的とする原蚕種製造所として設立されました。

蚕卵の人口孵化、病原菌の発見と防除法、桑園の管理、製糸機械の開発など様々な研究や試験が行われ、わが国の養蚕業の発展に大きく貢献しました。

1980(昭和55)年に筑波研究学園都市へ移転し、その跡地は区立蚕糸の森公園・杉並第十小学校になっています。

## 【参照】

◎『杉並歴史探訪』

森泰樹 杉並郷土史会

◎『杉並風土記 中巻』

森泰樹 杉並郷土史会

◎『杉並区立郷土博物館 常設展示図録』



旧蚕糸試験場建物(現・公園管理事務所)

11 月

## ＜高円寺図書館カレンダー＞

日	月	火	水	木	金	土
			1 お話会	2	3 落語会	4
5 講演会	⑥ 休館日	7	8 赤ちゃんタイム お話会	9	10	11
12 DVD 上映会	13	14	15 お話会	⑬ 休館日	17	18
19 DVD 上映会	20	21	22 お話会	23 絵本原画展 ワークショップ	24 絵本 原画展	25 絵本 原画展
26 絵本原画展	27	28	29 お話会	30		

○…休館日 下線…午後5時閉館

【開館・貸出時間】 月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

【休館日】（祝日と重なったときは直後の平日が休館日となります。）

第1月曜日…高円寺は休館ですが、中央他区内6館は開館しています。

第3木曜日…全館休館日です。

12 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	⑳	22	23
24	25	26	27	28	29	30
⑳						